

帝塚山大で超時空フォーラム

CG画像で平城京移動体感



コントローラーで平城京のCG画像内の移動を体感する参加者

―奈良市の帝塚山大

県内の大学に在籍する教員や学生が研究成果を公開する「超時空フォーラム」が15日、奈良市学園南の帝塚山大学で開かれ、参加した約200人の市民が、最新のコンピュータグラフィックス(CG)画像で再現された古代の建造物などを体感した。

フォーラムは、生駒市内のNPO法人「奈良ユニバーサロン」が主催。藤原京をCGで再現した奈良産業大学(三郷町)の片岡英己助教のグループは、再現する際、薬師寺を調査したことや、橿原市役所にある復元模型を参考にしたことなどを紹介。現在の藤原京跡の景色にCG映像を重ね合わせていく様子も公開した。

片岡助教は「修学旅行や観光で藤原京跡を訪れてもピンと来ないが、CG映像で目で見ることができれば

『なるほど』と思い、楽しみも広がるのでは」と話した。

続いて、奈良先端科学技術大学院大学(生駒市)の浦西友樹研究員のグループは、コントローラーを使って平城京のCG画像内を移動する感覚が楽しめる研究成果を披露。参加者もコントローラーを操作して体感した。

兵庫県伊丹市の主婦、坂本康子さん(72)は「初めてで操作は少し難しかったが、慣れてくればうまく操作できそうで、楽しかった」と話した。

フォーラムでは、藤原京や平城京に関するパネルディスプレイセッションなどもあり、参加者はメモを取るなどして熱心に研究成果に耳を傾けた。